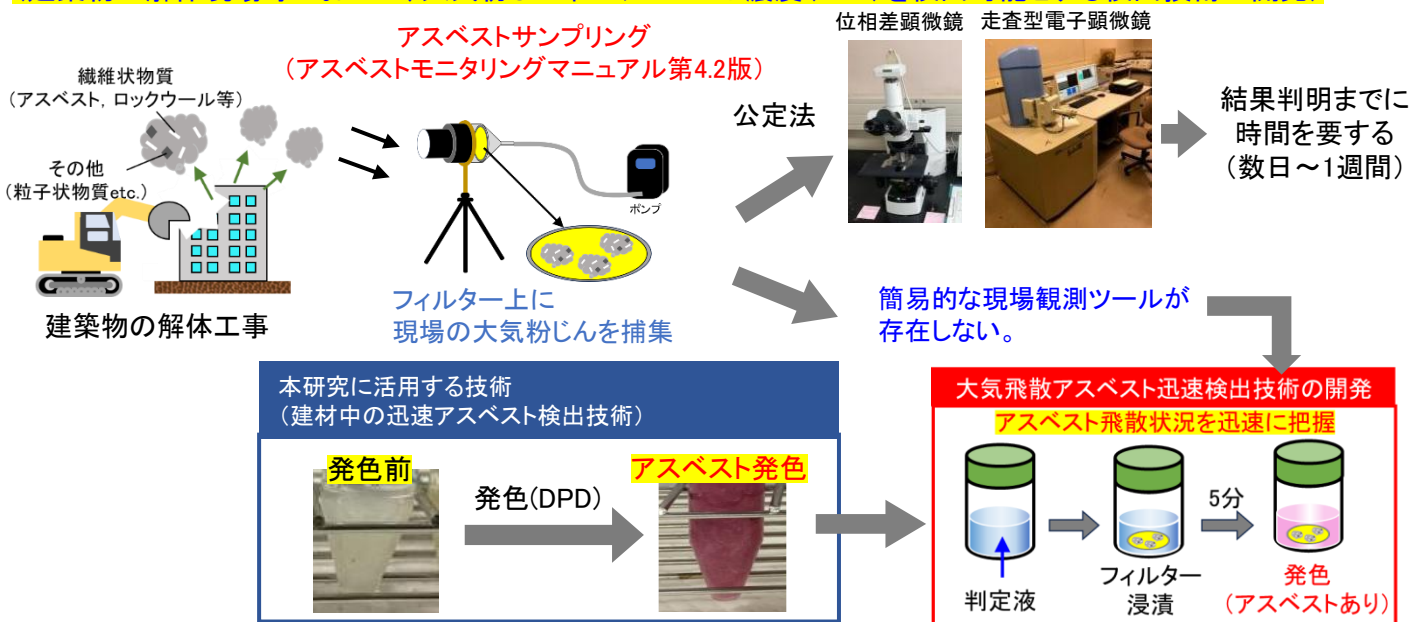


研究課題番号	【5RF-2201】
研究領域	安全確保領域
研究課題	「建築物の解体現場等において現場判定を可能とする大気飛散アスベスト検出技術の開発」
研究代表者（所属）	濱脇 亮次（広島県立総合技術研究所保健環境センター）
研究期間	2022年度～2023年度
研究キーワード	アスベスト、解体現場、迅速検出、 <i>N,N'</i> -ジエチル- <i>p</i> -フェニレンジアミン (DPD)

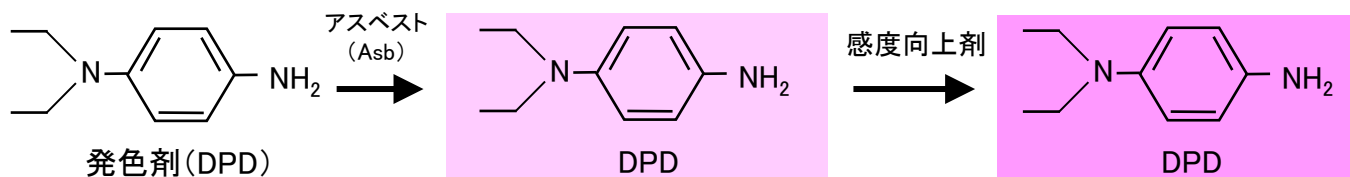
研究概要と達成状況

(1)研究概要

研究目標: 行政職員が立入検査の場で活用できる大気飛散アスベスト迅速検出技術の開発
(建築物の解体現場等において、大気粉じん中のアスベスト濃度(1f/L)を検出可能とする検出技術の開発)



(2)研究達成状況



		大気アスベスト濃度(10f/L) (環境基準値)			大気アスベスト濃度(1.0f/L) (漏えいの目安とする石綿繊維濃度)		
アスベスト種	アスベスト未検出	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
外観							

アスベストモニタリングマニュアルに示された方法により採取したフィルターを用いることで、10分以内に大気中のアスベスト繊維濃度(1.0f/L)を検出する技術を開発した。

環境政策等への貢献

- 本研究で開発した技術は、アスベスト規制に関わる行政職員が大気中に飛散したアスベストを迅速にスクリーニングできる監視指導ツールとして環境政策に貢献できる。